

授業科目名(英文名)bbb / Course title	富山の地域づくり / Regional Development Efforts in Toyama				
担当教員(所属) / Instructor	大西 宏治(人文学部)				
授業科目区分 / Category	教養教育科目 総合科目系				
地域課題解決型人材育成プログラム科目 / COC+Course	地域志向科目	授業種別 / Type of class	講義科目		
開講学期期限 / Period	2022年度 / Academic Year 前期 / Spring 他	対象所属 / Eligible Faculty	教養教育科目a		
時間割コード / Registration Code	106953	対象学年 / Eligible grade	1年 ,2年 ,3年 ,4年	単位数 / Credits	2単位
ナンバリングコード / Numbering Code	1X1-00041-2900				
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	大西 宏治(ohnishik@hmt.u-toyama.ac.jp 研究室電話 076-445-6184 研究室 人文学部4F 408号室)				
オフィスアワー(自由質問時間) / Office hours					
Moodleコース統合時間割コード / Moodle course join Registration Code					
Moodleコース登録教員名 / Moodle course registered Instructor	大西 宏治				
MoodleコースURL / Moodle course URL	https://lms.u-toyama.ac.jp/course/view.php?idnumber=2022_106953				
各種教育プログラム1 / Various Educational programs1					
各種教育プログラム2 / Various Educational programs2					
各種教育プログラム3 / Various Educational programs3					
各種教育プログラム4 / Various Educational programs4					
各種教育プログラム5 / Various Educational programs5					
リアルタイム・アドバイス / Real-time advice	更新日 2020/04/23				
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学修目標) / Course Objectives	教育目標 / Educational Goals				
<p>この授業は、富山市やまちづくりに関連する企業・団体の職員がゲスト・スピーカーとなって、それぞれが組むまちづくりについて、リレー式で授業を行うものである。</p> <p>県や市町村などの地方公共団体、そして国は、我々が暮らすまちを住みよいものにするために、様々なサービスを提供している。そのことを「まちづくり」と言い表すことがある。かつて、まちづくりは御上が行うもので、市民がそれに対して意見を出したり、自分たちで街づくりに取り組んだりすることはなかった。しかし、現在では行政は市民の声を取り上げたり、まちづくりへの市民の参画を呼びかけたりしている。そのような流れの中、富山市はどのようなまちづくりに取り組んでいるのかを知ることが、この授業のねらいの一つ目である。</p> <p>また、富山大学に通う学生の多くは富山県内に居住しているものの、富山県内の様々な場所にでかけて積極的に地域を知る活動をする学生は、残念ながら多くはない。そこで、富山市の職員に、各市の魅力や特色をまちづくりの視点から説明してもらい、学生たちの深い理解を創り出したい。</p> <p>学生の中には公務員を志す者も少なくない。公務員として働くということがどういうことなのか、そこで働く職員の生の声を授業で聞き、職業に対する理解も形成してほしい。</p> <p>この授業では、ゲスト・スピーカーから提供される話題に対する理解を深めるために、その内容に関してゲスト・スピーカーと学生のみなさんの間でのディスカッションを行う。学生のみなさんの積極的な質問や意見の投げかけを期待する。</p> <p>大学生の間だけ富山に暮らす受講者も少なくない。この授業を通して、学生のみなさんに富山のことを今まで以上に考えてもらえれば幸いである。</p> <p>行政での実務経験を持つ教員が、その経験を踏まえ、より実践的な講義を提供します。</p>					
達成目標 / Course Goals	<p>1. まちづくりが国や地方公共団体によって、多面的に取り組まれていることを理解すること。</p> <p>2. 富山市の取り組むまちづくりについて、理解を深めること。</p>				
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class schedule					

富山市や各種団体からのゲスト・スピーカーの講義をもとに、ディスカッションを行う。授業期間は8/24(水)～8/27(土)を予定している。6月にフィックスするが、現時点(4月)での予定は次のようになる。

第1日目(1限～4限)

第1回 オリエンテーション

富山で活動する団体・企業の取り組み

第2回 立山黒部ジオパーク協会の取り組み(立山黒部ジオパーク協会)

第3回 富山県下のプロスポーツの取り組み(グラウジーズ・NECソリューションイノベータ)

第4回 ワークショップ事始め(ミニワークショップ1)

第2日目(1～4限 内容は変更もありうる)

第5回～第8回

8:45～9:00 第1日目の振り返りと今日の予定の確認

9:00～10:00 富山市のコンパクトシティの取り組み(中心市街地活性化推進課)

10:15～11:15 富山市のスマートシティ事業(情報統計課)

11:30～12:00 富山市の課題確認(1)

昼休み

13:00～14:00 富山市の観光政策とその課題(観光政策課)

14:15～15:15 富山市の環境政策とSDGs(環境政策課)

15:30～16:30 未来共創:富山市のまちづくり(未来戦略室)

16:45～18:00 今日の振り返りと意見共有(ミニワークショップ2)

第3日目(1～4限)

第9回 富山のこれからを考えるワークショップ(1)

第10回 富山のこれからを考えるワークショップ(2)

第11回 富山のこれからを考えるワークショップ(3)

第12回 富山のこれからを考えるワークショップ(4)

第4日目(2～4限) CiCビルにて

第13回 発表準備

第14回 発表会(1)

第15回 発表会(2)

授業時間外学修(事前・事後学修)/Independent Study Outside of Class

事前学修

あらかじめ、各回の講義の理解を促すための情報源(HPのurlなど)を提示し、事前に目を通すとともに、その授業の2週間前に質問を集める。質問の作成、自治体の取り組みの事前学習など、おおむね毎回2時間ぐらいの時間が必要とされる。

事後学修

各回の講義に関連する新聞記事などを見つけ出し、講義内容に対する理解を深める。ここにもおおむね2時間ぐらいの時間が必要とされる。

キーワード/Keywords	富山市役所, コンパクトシティ, スマートシティ, 未来協創, まちづくり, 公務員, SDGs, レジリエンス
履修上の注意/Notices	ゲスト・スピーカーからの話題提供のあと, 20分程度の質疑応答を行います。きちんとした質問ができるよう, しっかりと考えながら話を聞いてください。 集中講義形式のワークショップがあります。ワークショップを欠席する者の履修は認めません。病気等の理由で結果的にワークショップを欠席した場合も得点の半分が得られないため単位を取得できません。
教科書/Required Text	
参考書/Required Materials	大学的富山ガイド: こだわりの歩き方 / 富山大学地域づくり研究会編; 大西宏治... 昭和堂, 2020.10<https://opac.lib.u-toyama.ac.jp/opc/xc/search/%2A?os[isbn]="9784812219379">
教科書・参考書に関するその他通信欄	特に指定しない。 各回に用いられたスライド等の資料をMoodleに掲載するので, 必要に応じて確認すること。
成績評価の方法/Evaluation	各回の講義についてのコメント・シート 各10点×7回=70点 ミニワークショップ 各15点×2回=30点 第10～15回についての参加の状況とコメント・シート 100点 合計200点を100点満点に換算して評価する
関連科目/Related course	
リンク先URL /URL of syllabus or other information	
備考/Notes	

授業追加情報 / Course add information

使用言語 / Language	日本語
アクティブ・ラーニングの実施 / Active learning	実施あり
アクティブラーニングの実施内容 / Contents of Active learning	富山の未来を構想するワークショップ
実務経験教員科目 / Work Experience teacher's subjects	
データサイエンス科目 / Data Science subjects	
他学部・他研究科等学生の履修可否 /	教養教育のため全学部の履修可